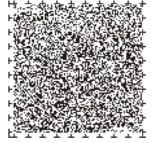




令和4年7月15日
第124号
発行 福岡視力障害センター
〒819-0165 福岡市西区今津 4820-1
(電話) 092 (806) 1361
(FAX) 092 (806) 1365
ホームページ
<http://www.rehab.go.jp/fukuoka/>
印刷 社会福祉法人 福岡コロニー



所長就任の挨拶

本年4月1日付けで埼玉県所沢市の国立障害者リハビリテーションセンターから所長として参りました丸山 家太郎と申します。

どうぞよろしくお願いいたします。

日頃より、福岡視力障害センターの運営及び障害者福祉の推進にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

私は、当センターに、令和元年度、令和2年度と2年間勤務しており、今回が2回目の勤務となります。

1年で福岡センターに戻ってまいりましたが、令和元年度の勤務の際には、福岡センター創立50周年という節目の時であり、創立50周年記念式典に参加させていただいたことを思い出し、歴史ある福岡センターでの勤務に責任を感じているところです。

今年度は、国立リハセンターで令和2年度から

始まった、第3期中期目標も折り返しの年となりました。令和2年度、令和3年度の2年間での実績を基に、今年度は、さらに、目標に向かってしっかりと取り組む年度と考えております。

職員一同目標達成に向け、しっかりと課題に取り組んでいきたいと考えておりますので、関係機関の皆様には、ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。

最後になりますが、卒業生、修了生、ご家族の皆様及び関係者の皆様には今後ともご支援とご協力を賜りますことをお願いして、所長就任の挨拶とさせていただきます。

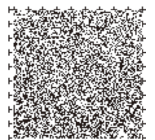


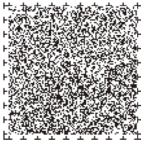
所長 丸山 家太郎

希望の未来に向かって

令和4年4月11日(月)、就労移行支援(養成施設)の入所式がセンター体育館で、先輩の利用者さん、職員の参加のもと執り行われました。今年の新利用者さんは、例年の半分の4名(男性3名、女性1名)でしたが、新入生代表の挨拶にも、強い

志をもって臨む決意が、また、迎える自治会長の挨拶では、温かくも覚悟をもって取り組むことの大切さに溢れた場となりました。





<新入生代表の挨拶>

暖かい春の訪れとともに新芽が顔をのぞかせる季節。

本日はわたしたちのために、このような素晴らしい式を開いていただき、誠に有難うございます。

本日より私たちはこの場所から新たなスタートをきります。

それぞれが今まで歩んできた道、

築き上げてきた多くのものを糧に一日一日を積み重ねてゆきます。

これからの学生生活、長いようで短い3年間で、時に迷うことや苦しい時があるかもしれませんが、ですが、共に協力し合いながら乗り越えていきたいと思ひます。

何事も積極的に取り組める、強い心を持って、勉強をはじめ、たくさんの事に挑戦します。

そうして得た経験がいずれ社会で生き抜くための大きな武器となり、自信となり、また、己を支

える杖となることでしょう。

最後になりますが、先生方、職員の皆さま、並びに諸先輩方、新入生一同、日々向上に努めてまいりますので、どうか温かいご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。これを持ちまして、新入生代表の挨拶とさせていただきます。

令和4年4月11日 西畑 有佳里



就労移行支援(養成施設)新入生の抱負

江崎 正芳

諸々初心者なので、色々頑張っていきたいと思ひます！

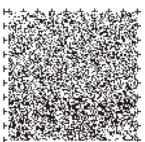
小川 仁史

今度こそ頑張る！

西畑 有佳里

幼い頃に網膜色素変性症と診断されたものの、今まで普通とあまり変わらない日常を送ってきました。2017年に専門学校で、はり師・きゅう師の国家資格を取得してから整骨院で勤務する中で、徐々に見え

づらさを意識することが増え、改めて弱視なりの鍼灸の仕方や、あん摩マッサージ指圧の技術の習得の必要性を感じ、この度入学を決意しました。



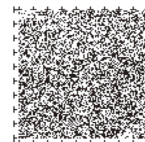
今後は多様な症例に対応できる確かな医療知識と施術技術の習得に努めていきたいと思ひます。

K. S

はじめまして今年から視力障害センターに入所しましてお世話になります。私は盲学校であんまマッサージ指圧の勉強を学び、国家資格を取得しあん摩指師として実際に現場に出て患者さんに施術をしてきました。そして、鍼灸にも興味があり、治療の幅も広げたいと思ひ、鍼灸の資格を得るため、視力障害センターに入ることを決めました。

鍼灸の国家資格を取得することを目標に日々の勉強に努めていきます。そして、将来治療家として仕事をしていくためにも腕を磨いていきます。今まで経験してきたことやこれから学んでいくことを活かしていきたいです。皆さんと仲良く楽しく過ごしていきたいです。どうぞ今後とも宜しくお願いします。

「かおりの園」の今



「かおりの園」の存在を皆さんはご存じでしょうか。福岡視力障害センターの正門を入ってすぐの左側にある公園です。昭和49年に今津福祉村村長の待鳥さんの発案で作られたもので、たくさんの方の支援でできたものです。視覚障害者が四季折々の木々や草花のかおりを楽しめるよう工夫されたものでした。同時に、地域住民はもとより福祉施設の方たちの交流・憩いの場として活用されていましたが、近年、その面影が薄れており、再生プロジェクトとして、ハーブを植え、また、同窓会から大島桜やくちなしなどの贈呈を受けて整備を始めています。かおりの園が、再び地

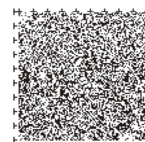
域に開かれた場所になる日が来るよう願ってやみません。

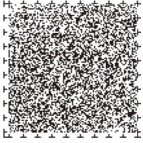


スポーツ訓練発表会

6月29日(水)にスポーツ訓練発表会(前期)を開催しました。新型コロナウイルス感染症の影響で3年ぶりの開催となりましたが、これまでの発表会と同様に、利用者と職員が参加して2競技(ゴールボール：4チーム、フライングディスク：6チーム)を実施しました。ゴールボールは予選を1位で通過した合同チーム(自立訓練と研修コースの合同)と2年A組の決勝戦となりました。

予選から圧倒的な強さを見せた合同チームが見事優勝を果たしました。フライングディスクは予選を1位で通過した自立訓練と、2位で通過した1年A組の決勝戦となりました。張り詰めた空気の中、確実に得点を重ねた自立訓練が優勝しました。発表会中は、猛暑を吹き飛ばすような熱いプレーが随所にみられ、とても有意義なひとときを過ごすことができました。





令和3年度国家試験結果と進路状況

(国家試験結果)

第30回あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師の国家試験の福岡センター、全国の結果は以下のとおりです。

【福岡】新卒

【福岡】既卒

	受験者数 (人)	合格者数 (人)	合格率 (%)	受験者数 (人)	合格者数 (人)	合格率 (%)
あん摩指師	10	9	90.0	2	0	0.0
はり師	10	8	80.0	6	1	16.7
きゅう師	10	9	90.0	6	1	16.7

【全国】新卒

【全国】既卒

	受験者数 (人)	合格者数 (人)	合格率 (%)	受験者数 (人)	合格者数 (人)	合格率 (%)
あん摩指師	1,107	1,048	94.7	171	34	19.9
はり師	3,059	2,761	90.3	923	195	21.1
きゅう師	3,059	2,795	91.4	833	168	20.2

【自立支援局各センター】合計

【全国】合計

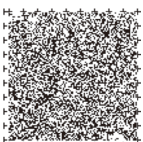
	受験者数 (人)	合格者数 (人)	合格率 (%)	受験者数 (人)	合格者数 (人)	合格率 (%)
あん摩指師	36	26	72.2	1,278	1,082	84.7
はり師	47	29	61.7	3,982	2,956	74.2
きゅう師	47	30	63.8	3,892	2,963	76.1

(進路状況)

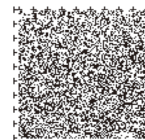
令和3年度卒業生の進路状況については、以下のとおりです。

(R3.5.31現在)

進路	人数(人)
高齢者施設(機能訓練指導員)	1
事務職	1
臨床研修コース	3
自立訓練(機能訓練)	2
就職活動継続	1
その他	2



職員の異動



令和4年3月31日

<退職> 藤田 ゆかり(所長)
山田 信也(支援課長)
伊藤 和之(教務課長)
<転出> 山本 裕理(庶務課長補佐)
(神戸センターへ)
関口 弘一(生活支援員)(国リハへ)
池田 正道(教官)(神戸センターへ)

令和4年4月1日

<転入> 丸山 家太郎(所長)(国リハより)

<転入> 山下 庄二(支援課長)
(函館センターより)
櫻谷 武史(庶務課長補佐)
(国リハより)
本村 裕生(会計係長)
(函館センターより)
米田 裕和(教官)
(神戸センターより)

<新規採用> 金本 浩忠(教官)

<再任用> 山田 信也(主任生活支援専門職)

新職員の紹介

支援課 山下 庄二

4月1日付けで函館視力障害センターから赴任しました支援課長の山下です。福岡センターの勤務は5年ぶりの2回目です。福岡センターの良いところは残しつつ、他センターの良いところは取り入れていくなど新たな気持ちで仕事に取り組んでいきたいと思っています。よろしくお願いします。

庶務課 櫻谷 武史

4月1日付けで国リハより赴任しました庶務課長補佐の櫻谷です。福岡センターの勤務は初めてとなります。海あり、山ありの自然に癒やされ、個性あふれる食を楽しみ、新たな気持ちで仕事に取り組みたいと思います。

庶務課 本村 裕生

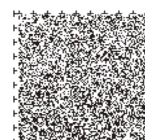
4月1日付けで函館視力障害センターより赴任しました会計係長の本村です。福岡県には、20年ほど前に1年だけ住んでいたことがあります。食べ物が美味しく、人情味に溢れた地だと記憶しています。北海道とは違う、福岡の夏の暑さに多少の不安を感じておりますが、元気一杯に頑張っていく所存です。

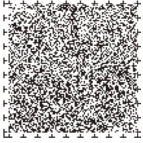
教務課 米田 裕和

この度、令和4年4月1日付けで神戸視力障害センターより転任して参りました、米田裕和と申します。出身はうどん(香川)県で、2004年に函館に採用されて、塩原、所沢、神戸に勤務して来ました。福岡の小麦文化にも触れながら、新しい勤務地で気持ちを新たに仕事に取り組んで参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

教務課 金本 浩忠

この度、新規採用となりました金本浩忠と申します。これまで、医療機関で鍼灸に関する臨床・研究、教育機関で視覚障害教育に携わってきました。その経験を福岡で活かせるよう頑張りたいと思います。また、早く福岡の皆さんと仲良くなりたいと思っています。これから、よろしくお願い致します。





利用者募集

1 当センターが提供する施設障害福祉サービス

サービス名	サービス内容	利用開始日	利用申請受付
自立訓練 (機能訓練)	歩行訓練、点字訓練、パソコン訓練、タブレット訓練、日常生活訓練(身辺処理・調理等)、スポーツ訓練、視覚的補助具の紹介、教養等	随時 (原則として 月曜日)	随時
就労移行支援 (養成施設)	あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の国家試験受験資格取得に向けた学習、進路支援等	毎年度 4月上旬	年3回

※通所が困難な方に宿舎・食事・生活支援等を行う「施設入所支援」サービスも提供しています。

2 利用に関する問い合わせ

サービス利用や利用料等の詳細、パンフレット等の送付、施設利用のお申込み、見学をご希望の方は、下記までお気軽にお問い合わせください。

電話：092-807-2844(支援課直通)

092-806-1361(代表)

Eメール：shienka-f@mhlw.go.jp



(ホームページQRコード)

利用者からの一言

2年 K. M

マスク着用の規制が少しずつ緩やかになってきました。嬉しく思いますが、もう体の一部になってしまったようで屋外で外すと少し違和感があります。しかし、センターではまだまだマスク着用

の授業が続くことでしょう。4月に新一年生が入所され、センターの雰囲気がとても賑やかになりました。新しい仲間とともに切磋琢磨し高めあってください。私たちも初心にかえり頑張っていきたいと思います。

